

論文審査の要旨  
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 ( 教育学 )	氏名 Author	SUHENDRI
学位授与の要件	学位規則第 4 条第①・2 項該当		
論文題目 Title of Dissertation Effectiveness of In-on-in Professional Development in Inclusive Education for Inclusive Kindergarten Principals in Indonesia			
論文審査担当者 Dissertation Committee Members			
主 査 Committee Chair	教授 川合 紀宗		印 Seal
審査委員 Committee Member	准教授 三輪 千明		
審査委員 Committee Member	准教授 牧 貴愛		
審査委員 Committee Member	教授 石田 洋子		
審査委員 Committee Member	教授 中矢 礼美		
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本博士論文は、インドネシア 23 州の幼稚園長を対象としたインクルーシブ教育専門性向上研修において、①園長がインクルーシブ教育の理論と実践に関する専門性向上研修に参加し、②その研修で得た知識と指導技術を園へ持ち帰って自ら実践または教員を指導し、③その効果と課題点を園長自らが分析し、再び専門家からの助言を得るために再度研修に参加し、その課題点を解決するための学びを深める“<b>In-on-in Professional Development</b>”形式による研修を実施し、その効果と課題について、知識や技能の変化に加え、園長のインクルーシブ教育に対する態度の変容から検討したものである。</p> <p>第 1 章では、本研究の背景、研究目的、研究設問及び仮説について述べた。第 2 章では、インドネシアにおけるインクルーシブ教育の歴史的経緯と制度、幼稚園におけるインクルーシブ教育を推進する上での課題、インクルーシブ教育推進のために発揮されるべきリーダーシップに関する文献レビューの結果について述べた上で、本研究の概念的枠組みについて述べた。第 3 章では、方法として、研究デザイン、研究参加者、インクルーシブ教育専門性向上研修の内容及び実施方法、調査・効果検証方法、データ分析方法について説明した。第 4 章では、結果として、新しいインクルーシブ教育専門性向上研修モデルの有効性について、従来型研修モデルと比較検討しながら述べた。第 5 章では、本研究で明らかになった結果を基に、園長のインクルーシブ教育に対する知識・指導技術・態度面の変化について、本研究の理論的枠組みと従来型の研修内容・体制との比較検討から考察した。そして終章の第 6 章では、結論として、本研究で提案した専門性向上研修案と理論的枠組みの関係、プログラム案を導入する際の留意点、限界点及び展望について説明した。</p> <p>本論文は、インドネシアでインクルーシブな幼稚園教育を推進するための実践や実施体制の在り方を考察する上で意義を有するとして、審査委員一同から高い評価を得た。なお、本論文の一部は、既に 2 編の査読付論文（うち 1 本は ESCI 論文）として刊行済である。</p> <p>以上、審査の結果、本審査委員会委員は、本論文が著者に博士（教育学）の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			